日露戦争戦死者の慰霊のため明治 41 年に辻橋（現在の片原町）に建設された「柳河忠魂碑」

今回は、「柳河忠魂碑」の絵はがきを紹介します。絵はがきに写っている石碑に「忠魂」の文字が確認できます。この文字を書いたのは、当時の立花家当主寛治で、「忠魂」とは忠義のために死んだ人の魂を意味する言葉です。

明治41（1908）年の立花家の出来事を記録した日記には、3月27日の箇所に次のような内容が記録されています。柳河町辻橋に日露戦争の忠魂碑を建設するため、池末徳次郎（柳河町在郷軍人同志会長）と竹泉四郎（同副会長）が、寛治の題字を希望したので「忠魂碑」と書いた、というものです。

この記述から、この忠魂碑が明治41年3月頃に、柳河町在郷軍人同志会によって、日露戦争戦死者の慰霊のために建設されたことが分かります。同会は、親睦を図ることを主な目的に現役を離れた軍人によって明治39年3月に結成された組織です。

忠魂碑の前では、同会主催の忠魂祭が定期的に開催されていました。明治44年4月の「柳河新報」の忠魂祭の記事によると、遺族や帰還兵に酒や肴がふるまわれた他、山鉾や手踊、撃剣や相撲などが演じられていたことが分かります。また、町内の家々は国旗や幔幕、造花などで飾られ、多くの人出があったとも報じています。

「柳河戦死者名誉録」で山門郡の戦死者数を確認すると、日清戦争が25人、日露戦争が113人です。全国的には日露戦争では、日清戦争時のおよそ10倍の戦死者が出ました。すなわち、日露戦争では家族や身近な人々に戦死者が出たのです。それほど大きなインパクトがあり、慰霊ということがより切実な意味を持ったのでしょう。

この忠魂碑は昭和8年3月に柳河小学校運動場の南側に移されました。移転の理由は分かりませんが、現在も絵はがきの石碑と変わらない姿を見ることができます。

柳河忠魂碑の絵はがき

柳川古文書館長　江島 香

市史抄片別巻　vol.90

「思ひ出」写真館

※表記と表現は広報紙のルールで統一しています。

市史編集委員会では、数年後に写真を中心とした本を刊行する予定です。現在さまざまな写真や絵はがきなどを集めています。隔月の広報紙に、集めた写真を紹介します。

【問】市生涯学習課市史編さん係（☎72・1275）

0 歳から参加可能 家族で和楽器を体験しよう

和楽器音脳リトミックコンサート

薩摩琵琶奏者の荒井靖水（せいすい）氏と箏（こと）奏者のみやざき都氏による和楽器体験コンサートを開催します。演奏だけでなく、絵本に出てくる音を体で体験する時間も。子どもはもちろん、和楽器に親しみのない大人でも楽しめるコンサートです。ぜひご家族でお越しください。

●**日時**　12 月 14 日（土）午後 2 時開演（開場は 30 分前）
●**入場料**　一般 1500 円、小学生以下 500 円、3 歳以下無料
●**前売券販売**　10 月 5 日（土）午前 10 時から市民文化会館で販売開始

演奏はもちろんクイズなどで誰でも楽しめる

初めての人向け琵琶演奏会

九州が世界に誇る薩摩琵琶と筑前琵琶。2 種類の琵琶とピアノによる演奏会を開催します。琵琶に関するクイズを始め、どんな言葉や文章も琵琶の歌に変換するコーナーなど初めて琵琶を聞く人でも楽しめること間違いなし。琵琶演奏を聞いたことがない人は、この機会をお見逃しなく。

●**日時**　12 月 15 日（日）午後 2 時開演（開場は 30 分前）
●**入場料**　2500 円（当日券は 3000 円）
●**前売券販売**　10 月 5 日（土）午前 10 時から市民文化会館で販売開始

suito 定例イベント

詳しくは、同館の公式サイトで確認できます。

第 3 木曜　リトミックひろば

●**日時・料金**　9 月 19 日（木）①午前 10 時～②午前 11 時～、1 組 500 円、CHIAKI
●**定員**　各回先着 10 組（要事前申込）

第 3 金曜　ロビーコンサート

●**日時・料金**　9 月 20 日（金）午後 7 時～（約 60 分）、無料
●**出演**　武井公希（声楽）

ピースツリーと

音楽と短冊で平和への思いを届けよう

こっぽりーの音楽会

9 月 21 日の国際平和の日「ピースデー」にあわせて、文化会館の掘割広場でこっぽりーがピアノを演奏します。その後、バイオリンの音色を聞きながらどんこ舟で新外町緑地広場（小野家屋敷跡）へ移動。同広場の桜の木（ピースツリー）に平和への願いを書いた短冊を結びます。参加費は無料です。詳しくは市公式サイトを確認してください。

●**日時**　9 月 21 日（土）午後 4 時～

【問】市生涯学習課文化係（☎77・8836）